

喜茂別岳 (1,176. 8m)

黒川西尾根コース

平成 30 年 1 月 20 日 (土)

CL 藤木 (晴)

スキー L 西田 (芳) S L 相馬 澤田 酒井 長沼
小山内 笹山 渡邊

スノーシュー L 藤木 (たか) S L 永宮 西田 (昌)
鈴木 荒谷 太田 門間 以上 16 名

7:00 伊達道の駅 8:35 黒川 P 場 9:35 黒川登山口発
11:40 950m 肩 12:15 1,050m コル
12:40 喜茂別岳西峰 13:15~13:50 1,050m コル (昼食)
14:30 600m 林道出合 15:00 黒川登山口 15:15 P 場
途中入浴解散 18:00 伊達道の駅

いつも朝食は六時頃、今日は家で食べることができた。山行があるときは車の中で食べている。(元気に登れそう)。それはさておき、青空の中、出発。現地で札幌、苫小牧の会員と合流して山頂を目指す。



途中、黒川を渡らなければならないがリーダーが先行調査してすんなりと渡ることができた (とてもありがたい)。新雪が積もり先行するパーティーもなく自分たちでルートを作っていく。軽めの雪を会員がかわるがわる先頭になりラッセルし 950m の肩に着く。長めの休憩を取り歩行のエネルギー不足にならないように栄養のある食べ物、水分を補給。



先のコルに標準を合わせ、岩峰に上がりすぎないように気を使いながら進む。スノーモービルの走った後

が岩峰に向かって伸びている。楽するつもりでスノーモービルの走った後を歩いたがたがたで歩きにくく、すぐにやめ、新雪を歩いた。

1,050m コルに着くがスノーシュー組は頂上にはいかず下山することに、スキー組が頂上を目指す。山頂は見えていたが昼から天候が崩れるとの情報もありルート旗を挿し山頂へ。山頂はすでに強風とホワイトアウト状態。すぐ、シールーはずし、写真を撮り下山。



上がるときに挿したルート旗のおかげでコルまで無事下山。



シュー組がツェルトを張って休息をとっていた。食事が終わったらしくツェルトから出てきた。女性会員が立てたツェルトをそのままのしてもらい、使わしていただいた。快適に過ごせて、感謝したい。コルからはスキー組が先を歩いているシュー組を追い越しあっという間に林道出合まで滑走。もちろん、パウダースノーの滑降は気持ちいいのは言うまでもない。

シュー組を待って、来た道を登山口までスキーを滑らせた。リーダー、運転をされた方とても楽しい山行ができました。ありがとうございます。

写真 酒井、相馬 記録 渡邊